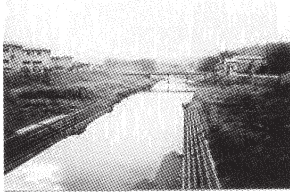
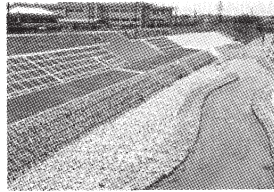


竜田川（斑鳩町）着工前



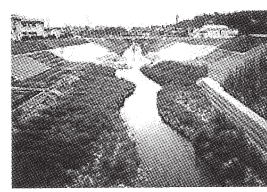
単調な流れで、多様な生きものの生息が困難。

着工直後



洲が生成されるよう造成。

数年後



造成した洲に植生が発達。水際の多様性が増し、生きものの住みやすい環境となりました。

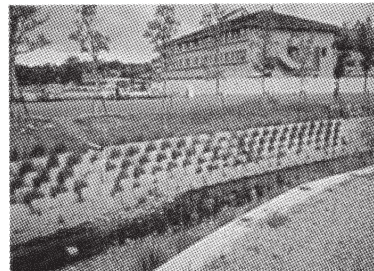
河川は、生きものの生息に配慮するため、水際の素材を工夫したり、護岸に植物の生えやすいコンクリートを利用するなど、治水・利水・環境のバランスに配慮しています。

高見川（吉野町新子）

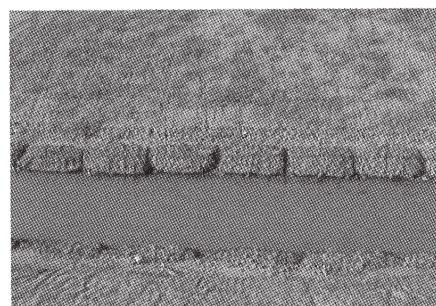


木工沈床や自然の材料を使い、水際に変化をつけています

秋篠川（奈良市）



スペースがない箇所でも安全な構造にしながら植物が生えるような工夫をしています。



施工直後の様子
植物の生えやすいコンクリートを利用しました。



数年後の様子
植生が回復し、水生生物も戻ってきています。

「地域住民による川づくり」

地域の川に愛着を持って水を守りながら使うことを目指して、地元自治会、ボランティア団体、企業などが川の清掃、草刈り、植栽などを自主的に行っています。県は「地域がはぐくむ川づくり事業」で地域が行う草刈り、清掃などの活動に対して支援を行うことにより、地域が主体となって川をはぐくむ取組を推進しています。

ため池の多目的活用について

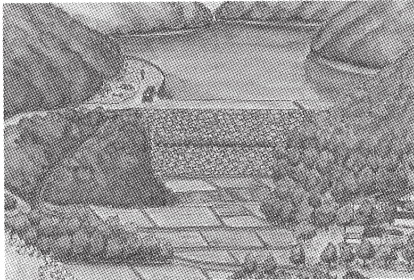
奈良県のため池の歴史は古く、古事記には「剣池」や「百済池」がつくられたとの記述があります。奈良盆地は降雨が少ない上、大和川の流域面積が狭いため、稲作を行う上で古来より水不足が大きな問題になっていました。そのためたくさんのため池がつくられてきたのです。

特に大和平野のため池については、農業用水供給などのため長年にわたる継続的な管理により地域の重要な財産として守られてきました。しかし、吉野川分水による水不足の解消のため池の役割が変化しました。また、都市近郊農村における混住化、農家の兼業化と高齢化などにより、多くの経費と労力を要するため池の維持管理が困難になり、また生活雑排水によって水質も悪化しました。そのため埋め立てられ、ほかの用途に転用されるため池が増えています。一方、環境保全の考え方が広まる中、ため池は環境保全機能や親水機能を果たすものとして再認識されるようになっていきます。具体的には、憩いや交流の場としての公園、防火用水としての利用、自然観察会の場としての活用、水辺の生態系としての動植物の生息・生育空間、ため池による気温低減効果などです。しかし、ため池は農業者から成る水利共同体によって維持管理される水利施設であり、水利権者との調整が必要です。今後のため池管理は、多様な主体の参加と合意形成による新しいコモンズ（共有地）としての共同管理が重要と指摘されているところです。そのような中、「農地・水保全管理支払交付金」を活用して、農家だけではなく、地域住民、自治会、関係団体などが一体となって「農業用水路」「ため池」などの草刈りや泥上げなどのほか、生物多様性保全のための生きもの調査などが実施されている地区もあります。

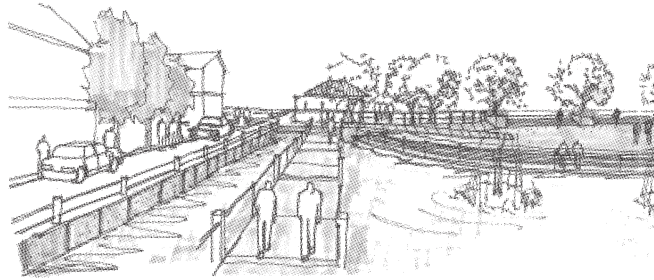
奈良県ではため池の価値を見直し、ため池を大切に守り育てていくことが必要と考えています。ついては、ため池の有する多面的機能の発揮によりため池の公共性を高め、県民の財産として次世代に引き継いでいく取組を進めます。

■多面的機能の発揮

- ・利 水（農業用水など、十分な貯水・通水機能および営農に適切な水質を確保する）
- ・治 水（洪水調整など、十分な強度と調整能力を持った堤体とする）
- ・自然環境の保全（ため池などの水域が作り出す生物多様性を保全・復元する）
- ・親 水（安全で親しみやすい水辺をつくり出す）
- ・景 観（広がりのある水と緑の水辺をつくり出す）
- ・環境学習（自然・歴史・文化を学ぶ場として、また地域のコミュニティの場として利用する）



利水利用のイメージ



親水利用のイメージ



自然環境保全のイメージ

現在、希少な淡水魚や水生昆虫などは、中山間地域にある水田に連なる小溝やため池にかりうじて残っています

「これからのため池保全」 ～多くの水鳥が集まる水上池～

奈良市佐紀町にある水上池は奈良時代以前からあったといわれています。水上池のように浅瀬がありアシやガマなどの水草が茂り、水鳥、魚、水生昆虫、カエルなど、さまざまな生きものがすめる生物多様性が豊かなため池が理想です。



水上池（みづかみいけ）は平城宮跡の北側にあり、近くには鳥たちのエサ場となる田畑やシイカシ林もあります。

「ため池での親水施設の整備」など

ため池などの水辺を利用して、快適な環境を創造するため親水・景観保全施設を整備する「地域用水水環境整備事業」に取り組んでいます。整備内容は散策道や植栽、せせらぎ水路など、憩いの場を提供するものです。葛城市の新町池や天理市の長柄新池では地域住